

子育て支援隊ニュース

～笑顔あふれる子どもが見たい～



射水市では、市民みんなで子どもの健やかな成長を支援していくために、子育て支援隊を結成しています。あなたの力を子育て支援に生かしてみませんか？

子育て支援隊とは？

子育てに関する豊富な知識や子どもの創造性を培う趣味、特技を持つ個人、団体を子育て支援隊として登録し、保育園や幼稚園、小学校などの子どもに関する施設や子育てサークルなどで、子どもたちとのふれあいを通じてその成長に寄与するものです。市は、施設・団体からの依頼に応じて子育て支援隊を紹介します。

支援隊にはこんな方(団体)が

- ・子どもの創造性を培う趣味、特技のある方(絵本の読み聞かせ、歌、おどり、折り紙、工作など)
- ・子育てに関する知識が豊富な方(育児の豆知識や離乳食や幼児食のレシピなど)



どんなふう活動しているの？

ここでは、いくつかの団体・個人の方の活動を紹介します。射水市ホームページでも紹介しています。(各課のページで、「子育て支援課児童福祉係」へお進みください。)

小杉童謡の会

代表者 倉橋 穎昌
 会員数 105名
 活動内容 歌・童謡のひろば・出前ひろば

平成8年秋に発足し、今では合唱曲も歌うグループです。会には3つの目標があります。
 童謡に親しみ、心身のリフレッシュを図る。
 射水市合唱祭にも積極的に参加しています。
 童謡を通じて地域社会と関わっていく。



毎年秋に開催する「こすぎ童謡フェスティバル」には、地域の保育園や幼稚園にも呼びかけて参加してもらっています。
 童謡を次世代に継承する。
 年1回、まどかホールで幼児を対象とした「童謡のひろば」を開催し、親子で遊びに来てもらっています。

また、「童謡のひろば」の出前も行っています。
 昨年12月には、会長以下10数名の会員で下村保育園に「出前ひろば」をしました。
 サンタもトナカイも、お山の動物たちも一緒に出かけました。多士済々、何でもやります。



一五クラブ

代表者 関澤 美保子
 会員数 11名
 活動内容 読み聞かせ・朗読劇

読み聞かせの時間《15分間》の15をとり『一五(いちご)クラブ』と名付けてから、今年で14年になります。
 新湊小・中学校での定期的な読み聞かせのほか、今年、朗読劇《かさこじぞう》に力を入れています。

衣装も本格的に一新し、子どもたちが劇に加わる『参加型』の作品に仕上げました。要請があれば、射水市内どこへでも出かけます。
 ぜひ、お声をかけてくださいね。



荒谷音楽教室

代表者 荒谷 由美子
 活動内容 楽器演奏

音楽は、とにかく、おもしろかったり、ワクワクドキドキさせたり、心を揺さぶることが大切だと思います。
 子どもたちに「好き!」「きれい!」「楽しい!」・・・そう感じてもらえたらと思っています。
 音楽というものは、必ず何かの思い出とつながっている

ものです。ある曲を聞くと、いつもその時の光景が思い出される・・・そういう事ありませんか？
 いかに音楽が身近なものであるか。音楽と楽しい出会いをするために、音楽の広い世界へ羽ばたかせてあげたいですね。



おもちゃの病院

代表者 竹内 宏之
 会員数 12名
 活動内容 壊れたおもちゃの修理

皆さんのおうちで、お子さんのお気に入りのおもちゃが壊れて困っていらっしゃる方はいませんか？治してみませんか!!!
 使い捨てが当たり前になった今、子ども

もたちにおもちゃを大切に愛着をもって長く使ってほしいとの思いから、おもちゃに関するいろいろな相談を受け、治療して元気になりたいと活動しているボランティアグループです。
 治ったおもちゃを持ち帰るときの「おじいちゃん!ありがとう!!!」がうれしく、元気をもらってまた頑張って治してやろうと意気込んでいるおじいちゃんグループです。

新湊コミュニティセンター、ミライクル館、大島絵本館を活動拠点として診療しています。
 毎回、多くの壊れたり動かなくなったおもちゃが入院したり退院したりしていきます。



かいばみ文庫

主宰 貝喰 治子
 活動内容 本の貸し出し、素ばなし等

自宅を開放した家庭文庫も8年余り経ちました。
 赤ちゃんから大人までの、ほっとできる「居場所」です。
 自分の日常生活では知りえない新しい世界を開いてくれる「人」と出会えるのが本であり、文庫です。
 いい本を読んで、いい言葉

で話しかけてあげたいと思っています。
 子どもの本が、「読書」という枠を超えて幼い子どもの心に喜びと楽しさの種をまいてくれます。
 子ども時代にまかれた《喜びの種》は、心の中に深く根をおろし、いつか、その子の生きる力《エネルギー》になっていくでしょう。
 それは同時に、種をまいた私の喜びでもあります。

太陽グループ

代表者 久々江 とみ子
 会員数 9名
 活動内容 人形劇・紙芝居・人間劇等

私たち太陽グループは、結成してから37年の年月が経ちました。初代の会員も、現役で活動しています。
 時代が変わるとともに、次のテーマ選びに苦労しますが、原点はやっぱり「善と悪」。これが一番分かりやすく、子どもたちに伝えていくべき大切なことではないかと感じています。

これからも会員力を合わせ、知恵を出し合い、楽しく活動していきたいと思っています。
 そして、一人でも多くの子どもたち、一人でも多くの大人の方々に楽しんでいただきたいと思います。
 保育園・小学校・公民館・お寺や老人施設などの皆さん、ぜひ声をかけてくださいね!
 「待ってま〜。」



射水ブランド行動隊あいばっくは、ふるさと射水の素晴らしさを伝え、楽しむ市民団体です。
 射水ブランドマスコットムズムズくんの活動のお手伝いをしております。

射水ブランド行動隊あいばっく

隊長 島崎 洋一
 会員数 62名
 活動内容 射水ブランドの推進活動 マスコットキャラクター「ムズムズくん」の応援支援活動

イミズムズムズのペープサート(紙人形劇)の公演やムズムズ体操の指導などで市内保育所・児童館などへ訪問させていただいております。
 ペープサートは、射水の四季の「自然」「祭」「味覚」を子どもから高齢者の方まで楽しめるストーリーで好評をいただいております。



さあ、あなたも子育て支援隊に登録して活動してみませんか？子どもたちがあなたの力を待っています。

大門ボランティア伝承グループ

代表者 藤田 美智子
 活動内容 地域に伝わるわらべ唄・遊び

昭和58年にグループ結成以来、昔から歌い継がれてきたわらべ唄を、何とか子どもたちやその親御さんに伝えていきたいと思い、遊びの中に取り入れながら伝承活動を行っています。

わらべ唄には、不思議な力があります。高齢者とのふれあいの中で、自分自身の名前が言えなくても、わらべ唄なら完璧に生き活きと唄われることがあります。
 そんな姿にとても驚かされ、あらためてわらべ唄の魅力を感じます。
 わらべ唄が、これからもずーっとずーっと歌い継がれていくことを願い、活動しています。



と歌い継がれていくことを願い、活動しています。



施設・団体の方へ

『支援隊の方に協力してほしいんだけど、連絡先がわからない・・・』そんなときは、市役所子育て支援課児童福祉係(☎82-1965)までご連絡ください。